

WA!



No.18



「お念仏の相続」

ご門徒さんの中に年配のご夫婦2人で住んでおられる家があります。子どもさんは独立されて、ご実家から離れたところで暮らしておられるので、お孫さんともなかなか会うことができないということです。お孫さんが家に来られた時には、まず最初にお仏壇に手を合わせてお参りしてもらおうそうです。またご法事もお孫さんの都合のよい日に勤められ、できるだけ仏縁に遇ってもらえるように心掛けておられます。

ご自分の息子さんや娘さんが子どもの時には、特別にお仏壇にお参りさせようとは思われなかったそうですが、年を重ねご自分がお寺にお参りするようになり阿弥陀さまの教えに遇われるようになって、気がつかれたことがあったそうです。

それは「自分自身も幼い頃から、父母、祖父母のお育ての中で仏様のみ教えに遇ってきたこと」でした。その気づきが機縁となって、息子さんや娘さん、そしてお孫さんに仏縁に遇ってもらえるように努めておられます。

現代の家庭は「核家族化」を通り越して「家族の個別化」に変化し、特に30代、40代の若い世代の宗教離れが加速しているといわれています。いまだ切なことは祖父母・父母・孫へと続くお念仏相続のための工夫ではないでしょうか。

今後は僧侶と門信徒が力を合わせて、家族そろって阿弥陀さまのご縁を結ぶ場を提案し創り出していかれたらと思っています。



第46回報恩講子ども大会

平成25年10月26日(土)に第46回報恩講子ども大会が広島別院にて開催されました。台風の影響が心配され開催も危ぶまれるほどでしたが、当日は晴れ間もぞく天気となりスタッフ一同安心したことです。教区内の子どももより27単位4,000名もの参加があり、本堂内にも子どもの元気な声が響き渡りました。

各子ども会で作成されたプラカードを持って入場し、開会式が始まりました。高田東日曜学校の子どもたちが代表で献華・献灯・献香、佐伯奥組専念寺日曜学校、寺尾光真君の調声で「らいはいのうた」をお勧めしました。

続いて久留島法晚先生(深川組・圓正寺)による法話がありました。クイズを交えた法話に子どもたちも大興奮、楽しってお話を聞いていました。その後は恒例の「わいわいランド」です。食べ物もゲームコーナーも種類を豊富に取り揃え、子どもたちにも人気の時間です。実行委員はもとより、仏婦、門守の方、仏青、元実行委員、別院



職員、また実行委員の友人や家族など多くの方々のご協力をいただき、「わいわいランド」が盛り上がりつつあります。参加した子どもたちとスタッフとのコミュニケーションも「わいわいランド」の楽しみの一つです。楽しんだ後は、みんなで会場内を掃除してから午後のアトラクションに移りました。

今年のアトラクションは清胤祐子先生、弘英先生ご夫妻による「ブラクシオンアター」でした。「おんちよる経」では笑い、蜘蛛の糸、では、暗くした共命ホールに地獄の世界や浄土から降りてくる蜘蛛の糸、カンタナなどが蛍光色で浮かび上がり、迫力ある声や音響と共に、その世界感に引き込まれていました。

今大会も子どもたちの笑顔に包まれた楽しい大会になりました。ますます、お寺が子どもたちの身近な存在、居場所になってほしいと感じたことです。

なお、この度のキャンデー募金は少年連盟・東日本大震災少年教化支援金にお届けする事を、報告させていただきます。

実行委員長 圓山龍寿





後期指導者学習会

『紙ヒコーキを作ろう！ ～大人も楽しい よく飛ぶ紙ヒコーキ～』

(3月5日 広島別院)

平成26年3月5日(水)広島別院共命ホールにおいて、後期指導者学習会が開催され、21名の参加者がありました。

講師に中野正之先生をお迎えし、「紙ヒコーキを作ろう！～大人も楽しい よく飛ぶ紙ヒコーキ」と題し、色々な形の紙飛行機作りをご指導いただきました。中野先生は東急ハンズ広島店開店当初からのスタッフです。木工房を担当され、日頃からモノづくりに携わっておられます。

講義では先生より「ツバメ飛行機」や「イカ飛行機」など6種類の紙飛行機の折り方を教えていただきました。一つができ上がるとすぐにどれだけ飛ぶかの実験がホールのあちこちで行われ、参加者一同童心に返りながら学びを深めました。飛び方が悪い紙飛行機も先生の調整であつという間に良く飛ぶようになります。コツは正面から見て翼によれがなく水平になっているとよく飛ぶようです。

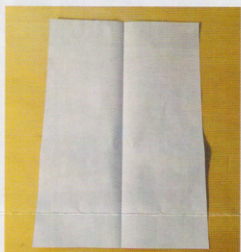
子どもたちとどうやったら飛ぶか、創意工夫しながら作っていくと楽しいと思います。ぜひ、チャレンジしてみてください。



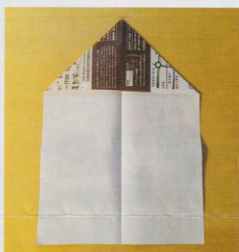
中野正之先生



イカ飛行機を作ってみよう！ ●材料 A4サイズ用の紙(チラシでも可)



① まず縦半分に折り、折り目をつけてみらきます



② 左上、右上部分を折り三角を作ります



③ 裏返しにし、中心線にそって両側をおります

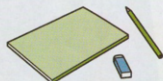


④ 裏に折られてる機首部分をひらきます

組織拡充部会からのお知らせ

教材としてナモアミ学習帳を作成中！ナモアミ学習帳とは、お経を書いて味わうノートです。

第1弾は「らいはいのうた」！



7月頃 販売予定です。どうぞ期待！



⑤ 機首のひし形部分を下へ半分に折ります



⑥ 裏返して中心線から山折りにします



⑦ 両翼を半分に山折ります



⑧ 羽を広げたら完成です

●飛ばし方のコツ あまり力をいれずにフワっとした感じで投げるとよく飛びます

「酒都西条 酒蔵通り」 一見て・飲んで・食べて・歩いて・学ぶ一

東広島市の西条は灘・伏見と並ぶ日本有数の酒処です。西条駅の周辺約1キロに8社の蔵元が立ち並ぶ全国的にも珍しい地区であり、赤レンガの煙突や白壁の酒蔵が建ち並ぶ美しい景観を見て歩くことができます。

今回は東広島ボランティアガイドの方に案内をしていただき、4カ所の酒蔵と安芸國分寺を約2時間かけて徒歩で見学しました。

休日などには、子どもガイドとして研修を受けた地元の子どもたちが、酒蔵案内をしてくれる時もあるそうです。

初めに訪れた賀茂鶴酒蔵にある賀茂鶴見学堂では、ビデオを使って酒米から日本酒ができるまでの工程を見て学び、日本酒造りの奥深さを知りました。賀茂鶴酒蔵では酒蔵限定販売のお酒をはじめ10銘柄の試飲をさせていただきました。また、各酒蔵でも気軽にお酒の試飲ができ、酒造所による味の違いを利き比べすることもできます。

酒蔵ではお酒やオリジナルグッズ、酒粕を使ったお菓子などを販売しているほか、酒蔵通りにはお洒落なカフェや土産物店、美酒鍋を味わえる飲食店もあります。通りを歩くだけでも、明治・大正や昭和初期の建物を見ることができ、タイムスリップしたような雰囲気を味わうことができました。見て・飲んで・食べて・歩いて・学ぶ西条の酒蔵通りでした。



赤レンガの煙突・赤瓦の屋根となまこ壁・白壁とが織りなす独特の景観を楽しむことができます。

社団法人東広島市観光協会 JR 西条駅前観光案内所

所在地 東広島市西条本町

電話 082-421-2511 (10:00～16:00月曜定休)

料金 毎月10日は無料、それ以外は事前予約で個別ガイドも可能です(有料)

アクセス方法 JR山陽本線西条駅から徒歩1分
山陽自動車道西条ICから車で約5分



山陽自動車道の西条ICからも近く、JR西条駅を降りてすぐに酒蔵通りがあります。



東広島ボランティアガイドの会の方に案内をしていただきました。



お土産には、各蔵のお酒はもちろん、西条酒ゆかりのグッズやお菓子もおおすすめです。



カーブの樽募金に使われた樽です。